

UDCTak の運営

UDCTak は、多様な主体が運営に関わることができるオープンな組織です。「高島平の未来につながる活動をしたい！」という様々な組織や個人が、人・活動・場所・資金などを持ち寄って運営する共同運営体制を基本にします。

設立にあたっては、民・学・公にわたる 5 つの団体が中心となり、「学」の代表である出口敦東京大学教授をセンター長として活動を開始します。

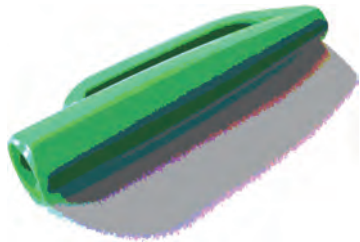
民 × 学 × 公

町会連合会高島平支部
商店街連合会第 7 支部

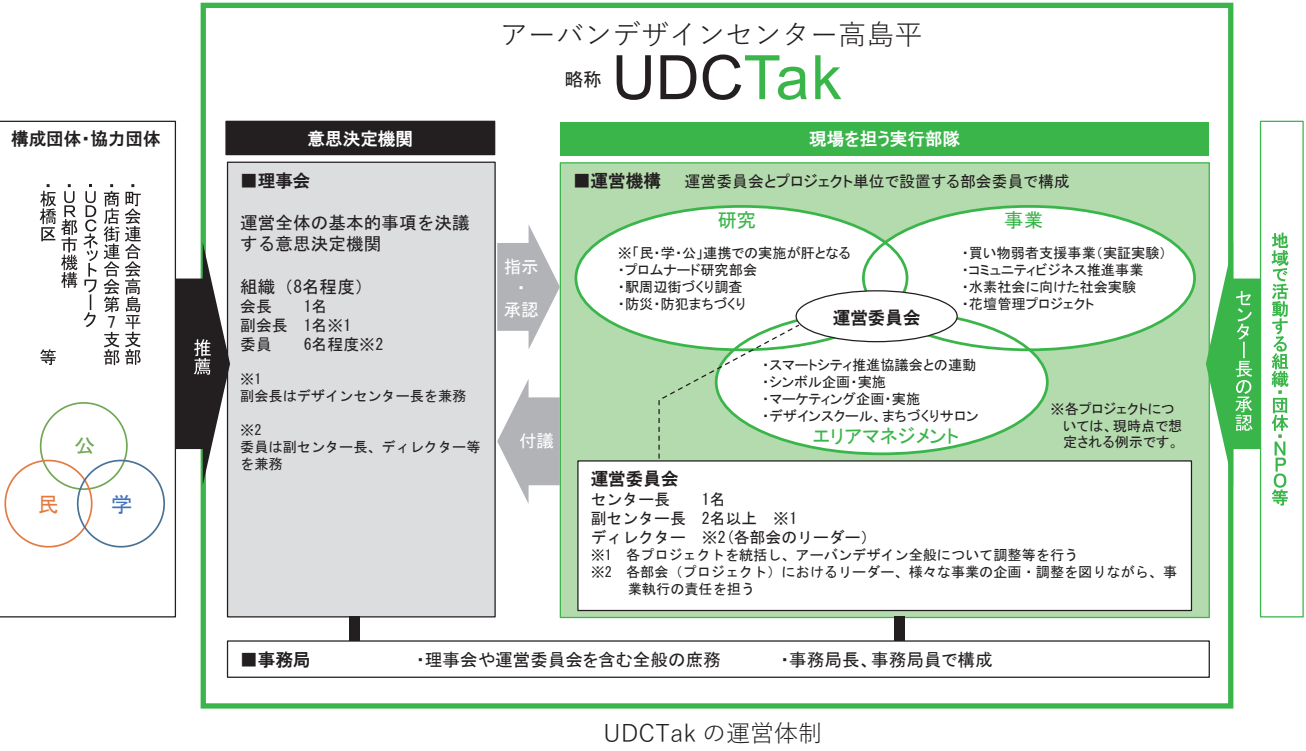
UDC ネットワーク

UR 都市機構
板橋区

※UDC ネットワークとは、全国各地に展開しているアーバンデザインセンターのネットワークであり、各センターの運営メンバーで構成されています。UDCTak のセンター長となる出口敦東京大学教授が代表を務めています。



UDCTak
アーバンデザインセンター高島平



UDCTak は、まちづくりの進捗に応じて体制を柔軟に変化させます。当面は板橋区が運営や活動費の多くを担いますが、今後、自主財源の確保により、自主的な運営体制への移行を目指します。

UDCTak
アーバンデザインセンター高島平

問い合わせ先 ▶ 〒173-8501 東京都板橋区板橋二丁目 66 番 1 号
都市整備部 高島平グランドデザイン担当課
電話番号：03-3579-2183 FAX 番号：03-3579-5437
Eメール：takamachi@city.itabashi.tokyo.jp

facebook ▶ facebook で最新情報を発信しています。
「UDCTak」で検索し、 いいね! をクリック！

民・学・公が連携して、 まちの将来像を描き、実現する まちづくりのプラットフォーム

UDCTak センター長
出口敦東京大学教授



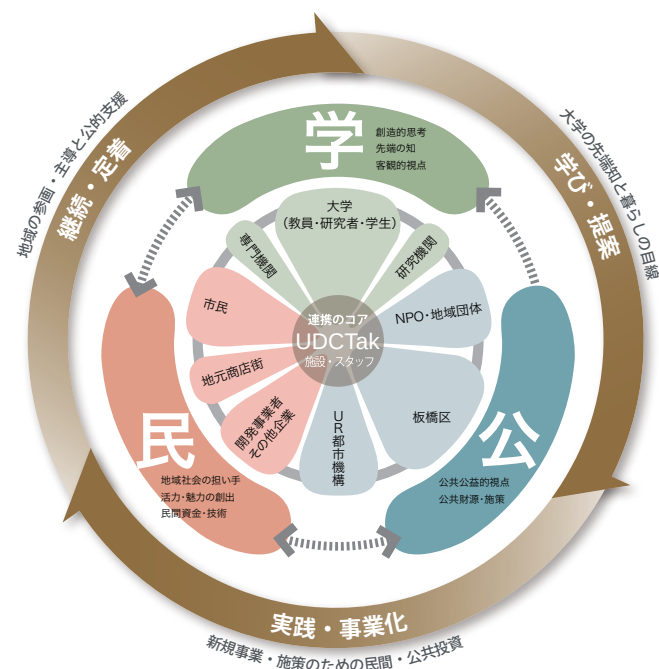
高島平地域は、昭和 40 年代後半から昭和 50 年代前半にかけて、東京への人口流入による住宅不足解消の受け皿として開発された住宅地を中心とする街です。

まちの誕生当時は、子育て世帯が多く移り住み、にぎわいと活力に溢れていましたが、それから 40 年以上が経過し、団地や同時期に整備された公共・公益施設等の老朽化が進み、地域のニーズに合わせた更新や改善を必要としているものもあります。少子高齢化も進行し、地域の住みやすきの向上や魅力向上のために地域の環境を今一度見直す時期に来ているとも言えます。

価値観の多様化した社会ニーズに柔軟に対応すると共に、予測困難な時代において地域の課題にスピーディに対応するまちづくりは、多様な主体が連携することで知恵と工夫を産み出し、関連の専門家の協力を仰ぎながら地域が抱える課題に地域自らが主体的に取り組む仕組みを創り出すことから始まります。

板橋区が平成 27 年 10 月に策定した「高島平地域グランドデザイン」でも示されている「民・学・公」連携のまちづくりのイメージを具体化し、地域に開かれた議論や活動の場づくり、シンクタンクの機能を果たすデザインセンターの枠組みを検討するため、平成 28 年 1 月から設立準備会にて検討を重ねてきました。特に、私が関わっている千葉県柏市の「柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）」などの先駆例の実績や課題を斟酌しながら、高島平の地域特性に対応した「アーバンデザインセンター」のあり方を同年 7 月にとりまとめ、板橋区に提言を行いました。こうした検討を受けて、この度 11 月 6 日に「アーバンデザインセンター高島平（UDCTak）」が設立されることになりました。

UDCTak は誰にでも開かれた場です。ぜひ、ご参集・ご参加いただき、高島平地域での安全で快適な暮らしを考え、地域の魅力向上へとつなげていくための話し合いと取り組みの場としていきましょう。



民・学・公連携の概念図

UDCTak（ユー・ディー・シー・タック）は・・・

- ✓ 未来志向で多様な主体がまちの将来ビジョンを議論し共有するための場となります
- ✓ 従来型のまちづくりの枠組みを超えて民・学・公が連携し、新たなプロジェクトを具現化する場となります
- ✓ 若い世代を含む新たなまちづくりの担い手を育て巻き込むオープンな場となります
- ✓ 地域の空間資源を生かして都市のリデザインとマネジメントを行う専門機関となります

UDCTak の活動内容

UDCTak は次にあげる 6 つの活動を柱とします。ニーズや効果の高いものから、先行的に進めながら、地域からの声や活動の盛り上がりを踏まえて、新しい活動を増やしていきます。

1 まちづくりにかかわる調査・研究

▶デザインスクールの開設

建築やまちづくりの学識経験者や大学生、まちづくり分野で実務に携わる企業や行政の職員などと地域住民が、関心の高いまちづくりの課題等について継続的に話し合い、実際のまちづくりや空間デザインにつなげていきます。

2 空間デザインと公共空間の活用方策検討

▶プロムナード（高島平緑地）の再整備とマネジメント

先行して進むプロムナード整備の検討を機会に、公募委員や地域グループとワークショップ等を継続的に進めながら、徐々に参加メンバー（サポートメンバー）を増やしていきます。

プロムナードを活用する新たなイベントなども地域と一体で企画し、自立した管理運営の確立につなげていきます。



3 地区別まちづくりの検討と事業化支援

▶旧高七小跡地プロジェクト及び周辺のまちづくりの検討

旧高七小跡地の再整備に向けた具体的な検討を、専門家や関係機関、民間事業者を交えて行い、活用方針について提言します。

跡地の再整備に合わせた周辺エリアの連鎖的な都市再生（再開発）についても、中長期的な視点で検討を行っていきます。



4 高島平地域グランドデザインの実現+αにかかわる提案や支援

▶連携会議の設置

関係機関や地域活動団体等との連携・協力関係の確立と活動の充実を目的として、定期的に情報交換やイベント実施に向けた調整等の会議を開催します。

▶こども × まち 未来の担い手育成プロジェクトの実施

子育て世代のまちづくりへの参画を促し、ひいては、地域の人材を幅広く見つけるための、こども向けのイベントを企画し、小学校にも協力を得て実施します。



5 魅力の発信、PR

▶広報ツールの作成と充実（ロゴ、ウェブサイト、広報誌）

高島平のまちの魅力やUDCTakの取り組みを、紙面やインターネットなどの各種媒体やマスメディアを通じて、広く地域内外に情報発信します。

6 センター機能の強化と持続的運営の枠組み構築に向けた協議・調整

▶センター拠点化事業 「まちづくりサロン」の定期実施

何か高島平で面白いことをしたい人、感度の高い人が集まる気軽なサロンを定期的（月 1 回等）に設け、街やまちづくりについてゆるやかに意見交換する場としていきます。